

令和6年度児童発達支援・放課後等デイサービス 事業所自己評価及びアンケート結果対比表

	事業所評価		チェック項目	利用者評価	
環境面	はい (50%)	いいえ(50%)	①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	はい (100%)	
	はい(75%) 25%		②職員の配置数や専門性は適切か	はい (100%)	
	はい (50%)	いいえ(50%)	③事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい (87.5%)	12.5%
適切な支援の提供	はい (100%)		④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されているか	はい (100%)	
	はい (100%)		⑤活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	はい (100%)	
連携	はい (100%)		⑥保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	はい (87.5%)	12.5%
説明責任	はい (100%)		⑦支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	はい (100%)	
	はい (100%)		⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	はい (100%)	
	はい (100%)		⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	はい (75%)	12.5%
	はい (100%)		⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	はい (50%)	12.5%
	はい (100%)		⑪子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい (87.5%)	12.5%
	はい (100%)		⑫子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	はい (100%)	
	はい (100%)		⑬定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を発信しているか	はい (100%)	
	はい (100%)		⑭個人情報に十分注意しているか	はい (100%)	
非常時の対応	はい (100%)		⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	はい (100%)	
	はい (100%)		⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	はい (100%)	
その他			⑰子どもは通所を楽しみにしているか	はい (100%)	
			⑱事業所の支援に満足しているか	はい (100%)	

※無回答はどちらともいえないで集計

ご意見

- ・いつも暖かな対応ありがとうございます。ぶらすさんの活動を通して日々子どもの成長を感じることができています。
- ・きょうだい児の交流があると嬉しい

▶上記アンケートに対しての意見（保護者）

- ・特になし

▶上記アンケートに対しての意見（スタッフ）

- ①に対しての意見…施設の広さや人員については、利用定員5名に対しては不適切かと思われます。
バリアフリーなど施設の構造も避難のことを考えると、2階での生活は不適切と感じます。

自己評価とアンケートについて

共通点

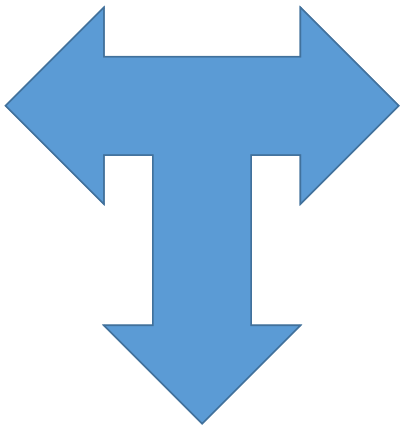
支援の提供、説明責任、非常時の対応については概ねポジティブな意見で一致していた。

相違点

環境面、保護者同士の連携については相違が大きかった。

事業所の強みと改善点

環境面、利用者に対する個別の支援の提供や、説明責任、非常時の対応など全体的に一定の評価をいただきました。施設のご意見としても、お子さんの成長を感じられる場所として評価いただきました。今年度は保育交流の機会を昨年度より多く実施出来たことが、前年度のより評価の向上に繋がったと思われます。



・子どもの活動等のスペースについては、お子さんの利用数が増えた中で足りなさを感じています。そのため室内で活動的に動けるよう工夫したり、静的にも楽しめる活動を実施しております。
・保護者同士の連携については、年3回ほどではありますが、保護者会活動として保護者様のみ参加の活動を提案し、保護者同士のコミュニケーション機会を作っております。

改善に向けた取り組み

今年度は保育所との交流機会を増やせたことがアンケートの結果にも繋がったと考えられます。来年度も連携を図り、感染状況を鑑みながら保育所との交流機会を作っていきたいと思います。保護者同士の連携については、保護者会活動として保護者同士のコミュニケーションの機会を設けていたが、小規模であり頻度も多くはないため参加が難しかったのかと考えられます。来年度は、保護者会活動の機会を増やせるよう頻度や母体を大きくしていければと思います。活動のスペースについては施設基準を満たしている中ですが、利用のお子さんが増えた中で活動内容によってはスペースの足りなさを感じております。活動スペースを拡大することは難しいですが、限られたスペースの中で創意工夫を行い、子ども達が楽しめる活動を支援していきたいと思います。引き続き子ども達の経験の幅の広がりにつながるよう、多職種による関わりにて必要な支援の提供が安全に行えるよう整備を図っていきます。